

しあわせって何だろう？

『』 …場面チェンジ

“” …その時の様子

() …心の声

主人公…主（こうたくん） サンタ…サ 友達…A～C

今日はクリスマスイブの日。こうたくんの家では家族でクリスマス会をするつもりです。こうたくんはパパとママが帰ってくるまでに飾り付けを作ることになりました。

『家』

主：「よーし。パパとママが帰ってくるまでにすごい飾りを作って驚かせてやるぞー！」

“飾りを必死で作る” せっせ

主：「できたー！うん！すごいきれい。パパもママも絶対喜んでくれるぞ。早く帰ってこないかなー。」

“電話が鳴る” ルルルー

主：「誰だろう？はい、もしもこうたです。あっパパ！どうしたの？うん、うん…。…お仕事じゃしょうがないよね。わかったよ。ママと二人で先にクリスマス会やってるね。うん。じゃできるだけ早く帰ってきてね。ばいばい。」

“寂しそうな主人公” しゅん

主：「あーあ。パパ遅くなるのかー。早く帰るって約束してたのになあ。けど仕事じゃ仕方ないよね。」

“またもや電話が鳴る” ルルルー

主：「あれ？またパパかな？もしもパパ？あっ！ママ！どうしたの？さっきパパから電話があってね…。えっ！ママも遅くなるの!?どうして!?約束したじゃないか！もういいよ！謝ったってもうしらない！じゃあね！」

“怒って電話を切る” ガチャ

“鳴り響く電話” ルルルー

“電話を無視する”

“電話が鳴り止む” シーン

“怒りが寂しさに変わる” ヒュルルルー

主：「パパもママもぼくの方が先に約束してたのに。ぼくより仕事の方が大事なんだ。せっ

かく喜んでもらおうと思ってこんなに飾り付けもしたのにな…。」

“泣く” グスグス

主：「うわーん！パパとママのバカー！今日はクリスマス会するって約束してたのにー！もうこんな飾り付けいらんよー！」

“飾り付けを壊す” ビリビリ

主：「クリスマスイブの夜にぼくだけ一人ぼっちだなんて。きっとみんな楽しく過ごしているんだろうな。ぼくだけちっとも幸せじゃないよー！」

“サンタ登場” ぼぼーん

サ：「おやおや。泣き声が聞こえたから来てみれば、これはどうしたんじやい？」

主：「えっ。あなたは…もしかしてサンタさん!？」

サ：「そうじゃよ。よくわかったのう。」

主：「へへー！それより聞いてくれる？今日はパパとママとクリスマス会をする約束をしてただけど、2人とも帰るのが遅くなるんだってさ。せっかく2人を驚かせようと思って飾り付けも頑張ったのにさ。クリスマスイブの夜に一人ぼっちだなんて…。」

サ：「そんなことがあったのかい。それは残念じゃったな。けれどもじゃあこうたくんのパパとママは、今こうたくんのために必死で働いてくれているんじゃないのかい？」

主：「えっ。どういうこと？」

サ：「そうじゃのう…。よし！こうたくん！わしは今から世界中の子供たちにプレゼントを届けに行くんじゃが一緒に行かないかい？」

主：「ほんとに!?サンタさんのソリに乗れるんだ！やったー！」

サ：「ふふふ。きつこうたくんにとって素晴らしいものになると思うよ。」

“雪だるまの場面へ”

サ：「まずはあの子じゃ。こうたくんはそりで待っていてくれるかの。」

『雪だるまストーリー』

A：「今日もよく寝たなあ～！ふあ～。」

母：「Aくん！いつまで寝てるの！早く起きなさい！」

A：「もうおきてるよお。母さんおはよう！今日はなんだかいつもより寒いね。」

母：「そりゃそうよ！外見てみなさいよ。」

A：(ガラッ)「うわっ！まっしろだあ！こんなに雪がふったんだね。すごいや！早速外にいった遊ばなきゃ！」

母：「ふふっ。風邪引かないようにしっかり暖かくしていくのよ。」

A：「雪がいっぱいだあ～！よお～し！いっぱい遊ぶぞ！まずはなにをしようかな。よし！雪だるまをつくらう！」

A：「ヨイショ。ヨイショ。よお～し完成だ！すっごく上手にできたな！おもったより時間がかかっちゃったよ。ちゃんと名前もつけなきゃ。そうだなあ

～。よし！この雪だるまの名前はモンタくんだ！」

A：「あっ！もうこんな時間だ！帰らないと！じゃあモンタくんバイバイ！」

A：「ただいま～。」

母：「こんな時間まで遊んできて！なにやってたの？」

A：「雪だるまつくってたんだあ。すごく上手にできてモンタくんって名前までつけたんだあ。明日もモンタくんを見に行くんだあ。」

母：「あらそうなの。よかったわね。じゃあ手洗いとうがいをしておいで。ご飯にしましょう。」

A：「はあ～い。」

天気予報：「天気予報です。明日はすごく暖かくなるので今日積もっている雪はぜんぶとけてなくなります。過ごしやすい一日となるでしょう。」

A：「え？じゃあモンタくんもとけちゃうんじゃ……。そんな！ちょっと出かけてくるね！」

母：「え？A！まちなさい！……………行っちゃったわ。」

A：「はあはあ。モンタくんがとけちゃうなんていやだよお！」

“サンタ登場” ぼぼーん

サ：「フオッフオッフオ。Aくんの気持ちはよおくわかったよ。わしからのプレゼントじゃ。ほれ、魔法の氷じゃよ。これがあればモンタくんは暖かいところでもとけずにいられるはずじゃ。これで明日からもいっしょにいられるじゃろう。」

A：「やったあ！ありがとう！サンタさん！これであしたからもモンタくんと一緒にいられるぞ！とっても幸せだな。」

『空』

主：「あの子すごい嬉しそうだったね。いいなー。」

サ：「子供たちを喜ばしてあげるのがわしの役目じゃからな。」

主：「ねーねー。次はどこへ行くの？」

サ：「次はあの子じゃよ。さて、あの子のほしいものは何かな？」

こうたくんの心情
興味なし

『ごはんストーリー』

B：「今日はクリスマスパーティーに来てくれてありがとう！みんな何か持ってきてくれた？」

「コーラ持ってきたよー！」 「ぼくソーダ持ってきたー！」

「わたしはオレンジジュースとカルピス持ってきたよ！」

B：「え？わたしも飲み物しか用意してないよ！？ってことは…クリスマスパーティーなのに

…食べ物は何にもないよー！！どうしよう。おなかすいたよー！」

みんな：「おなかすいたー」

“サンタ登場”

サ：「メリークリスマス！みんな、食べ物がないのかい？」

B：「わあ、サンタさんだ！そうなんだ…。みんなで飲み物ばかり用意しちゃったの。」

サ：「そうか、それは大変じゃな。ではわしからのプレゼントじゃ！」

B：「うわあ！すごくおいしそうなおはん！サンタさんありがとうー！」

みんな：「ありがとう！」 「おいしそうー！」

B・みんな：「いただきまーす！！」

B：「すごくおいしい！さっきはおなかすいてどうしようと思ったよー。やっぱり、ごはんが食べられるってしあわせだなあ。」

『空』

主：「うわーいいなあ。あんなごちそう食べれたら幸せだろうな。」

サ：「こうたくんも毎日お母さんのおいしいご飯を食べてるんじゃないのかい？」

自分の幸せに
気づいていない

主：「ママのご飯は確かにおいしいよ。けどやっぱりごちそうの方がいいよ。」

サ：「わしはどんなごちそうより気持ちのこもったお母さんのご飯のほうがおいしいと思う
がなあ。」

主：「おいしそう。…えっ！！なんか言った？」

サ：「いやいや。そろそろ次の子のところに到着じゃ。しっかりつかまっているんじゃよ。」

『自分の存在ストーリー』

C：「そういえばもうすぐクリスマスかあ。せっかくだしみんなで集まって何かしたいなあ。

…よし！クリスマス会をしよう！けど、みんなきてくれるかなあ…来てくれなかったらどうしよう…やっぱりやめとこうかなあ…」

“サンタ登場”

サ：「Cくんの考え聞かせてもらったよ。すごくいいアイデアじゃないか♪クリスマス会が開催されたらきっとみんな楽しんでくれるじゃろうよ！」

C：「そうかなあ…ほんとにそう思う？」

サ：「もちろん！わしもぜひ行ってみたい。Cくんならきっと出来るよ」

C：「うん！じゃあぼくがクリスマス会をひらくよ！楽しみにしててね♪」

(さっそくCくんはケーキ作りや部屋のかざりつけをはじめ。そしていよいよクリスマス会がやってきました！)

C：「みんな今日は集まってくれてありがとう♪クリスマスを祝って、幸せな1日にしようね」

(そして…歌を歌ったり、みんなでゲームをして最高のクリスマス会になりました)

？：「今日はCくんがクリスマス会を開いてくれたおかげでとっっても楽しい1日になったよ！ほんとにありがとう！」

C：「実はぼく今日はみんなが来てくれるか不安だったんだ！でも勇気をだしてクリスマス会をしてほんとによかった～今日はみんな来てくれてありがとう♪メリークリスマス！」

『空』

主：「さっきの子たくさんのごちそうや友達に囲まれてほんとに楽しそうだったね。」

サ：「そうじゃの。けど楽しそうだったのはごちそうや友達だけが理由じゃないと思うよ。」

主：「うん！それはぼくにもわかるよ！あの子が勇気を出してクリスマス会を開いて、それが大成功したからでしょ！きっと何度もこの日のことを夢見たと思うよ。ぼくもそうだったからさ…。けど、サンタさんと一緒にいろんな子のところに行っているいろんな幸せが見れてすごく楽しいよ。幸せのかたちって人それぞれなんだね！ねーねー！次はどこに行くの！？早く行こーよー！！」

サ：「あつ。そんなに揺らすと危ないよ。」

幸せはそれぞれ

“ソリから落ちる” グラッ

サ・主：「あ。」

主：「あー助けてー！！！」

『家』

主：「うわー！ってあれ？ここは…ぼくのうち？あれ？さっきまでサンタさんといたのに。どうして？確かソリから落ちちゃったんだ！それから…ん？もしかして全部夢だったの！？うそだ！！そんなことあるわけ…でもどうして…」

“鍵の開く音” ガチャ

母：「ただいまー。こうた、遅くなっちゃってほんとにごめんね。寂しかったね。」

主：「ママ！おかえりなさい。あのね、ぼくね、さっきサンタさんにね…」

“ドアの開く音” ガチャ

父：「ただいまー。こうた、遅くなってほんとにすまなかったー ってこうた、母さん玄関でどうしたんだい？」

主：「パパ！おかえりー！」

母：「私も今帰ってきたところなの。ちょっと遅くなっちゃって。そしたら帰るなりこうたが…。」

主：「そうなんだよ！僕さっきまでサンタさんと一緒にみんなにプレゼントを配ってたんだよ！ソリに乗ってビューンってね…」

母：「あらそうだったの。(ふふっ。すごい楽しい夢を見てたのね。) それよりこうた。ちょっと遅くなっちゃったけど今からでもクリスマス会やらない？」

父：「そうしよう！パパもそう思ってたところだ。」

主：「うわーい！やったー！そういえば僕ねーすっごいきれいな飾り付けを…。あつ。(そういえば全部めっちゃくちゃにしちゃったんだ。どうしよう。)

母：「へー！飾り付けしてくれたの！？それはママ楽しみだわ。」

父：「よし、すぐ見に行ってみよう！」

主：「あつ。ちょっと待つ…。」

“ドアを開ける” ガチャ

『クリスマス会』

母：「うわぁー！」

父：「こうた。こんなにすごい飾りつけをありがとう！」

主：「えっ。」

“部屋へ小走り” タタッ

主：「あれ？部屋が元通りになっている…。あつ、あれは！」

“サンタさんの何かを見つけてサンタさんのおかげと気づく”

母：「ほんとにすごいわねえ。とってもキレイ。」

主：「へへー。すごいでしょー！(やっぱり夢じゃなかったんだ。ありがとう。サンタさん。)」

父：「ほんとにありがとう。パパとママはすっごく幸せだよ。」

主：「幸せ…。(そっか、いろんな幸せを見てきたけど、こんなに近くにも幸せってあったんだ！今まで気づかなかっただけで、きっと僕にもたくさん幸せが…。)

パパ、ママ、僕も今すっごく幸せだよ！ありがとう！」

母：「あら？急にどうしたの？」

主：「へへー。そんなことより早くクリスマス会しよーよ♪」

母：「そうね。すぐに準備するわ。」

“楽しいクリスマス会” わいわい、ガヤガヤ

『サンタの場面』

サ：「こうたくん、自分の幸せに気づくことができてよかったね。幸せというのは見つけにくいけど、誰の近くにもたくさん隠れているんじゃないよ。」

“会場の子供たちに向かって”

サ：「あなたの幸せはどこに隠れているかな？」